

令和2年度事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

令和2年度については、長いコロナ禍にあり出口の見えない状況が続いて参りました。事業計画、予算についても今後が全く見通せない状況のため、骨格的なものでスタートいたしました。

このような中、新型コロナウイルス感染症に伴う景気の低迷から、当協会の会員数の減少が見込まれ会費の減少により、収支均衡が図れなくなる恐れがあることから、支出の抑制に努めて参りました。

さらに、函館市より利用料金制度により受託している「函館市旧イギリス領事館」においても、新型コロナウイルス感染症への感染予防の観点から長期に渡り臨時休館を実施し、再開後においても大幅な入館者の減少が想定され、収支が厳しい見込のため、清掃等の管理業務の外注を取りやめ、協会事務局職員にて業務を行うなど、支出の削減に努めて参りました。

一方で、このような状況下にある時こそ情報発信が重要と考え、今出来ることとしてInstagramによる画像投稿型キャンペーン「みんなの写真で函館の魅力PRキャンペーン・おうちで函館」、さらにTwitterにより函館の魅力を川柳で伝える「函館観光川柳キャンペーン」を連続して実施し、反響も大きくマスコミにも取り上げられ、函館のPRに繋がったところです。

さらに、函館における観光消費を少しでも高めるため、主要観光施設の入館と市内物販店などにおける消費レシートを合わせた「函館散歩でスタンプ&レシートラリー」を実施したところでございます。

さらに、マイクロツーリズムとして、12月から1月において、青森地区との連携により、「津軽海峡クリスマススタンプラリー」や光の海峡をタイトルとしたInstagramキャンペーンを展開いたしました。

7月からどうみん割が始まり、10月には、対象外となっていた東京都発着によるGOTOトラベルの運用が再開され、当地においても徐々に回復傾向が見られ、10月から11月にかけては、主要観光施設において前年同期比70%程度まで回復が見られ、一部施設では、100%を超える入館者もありました。

しかしながら、12月には再び感染が拡大し、GOTOトラベルの運用が停止され、さらに、令和3年1月に1都2府8県に向けて緊急事態宣言が再度発令されたため、観光客は一気に減少し、3月22日に宣言が解除されましたが回復には至っておりません。

また、イベントにつきましては、当協会が事務局を担っております「函館港まつり」は、密対策が図れないことから、長い歴史の中で戦時中における中止を除き、初の中止を決定いたしました。

昨年度は、函館市内におけるイベントのほとんどが中止となり、観光業界にとどまらず、地域経済が非常に厳しい状況が続いていることからその回復の一助とすべく、冬の一大イベントである「はこだてクリスマスファンタジー」を、ステージイベントの中止やスーパーの中止などの感染対策を講じ開催いたしました。

さらに、函館市と共に「はこだて冬フェスティバル」の一環として、週末花火の実施や基坂・元町公園における光の演出を行い、観光客を呼び込む計画を進めましたが、首都圏を中心とした地域への緊急事態宣言が出されたことから、一部イベントについては残念ながら実施出来ず終了したところでございます。

長い函館観光の歴史において、大変厳しく長い1年間となりましたが、函館観光を支えて頂いている会員の皆様に改めまして感謝申し上げますと共に、このコロナ禍を皆様と共に一緒に乗り越えて参りたいと考えておりますので、引き続きご協力をよろしくお願いいたします。